

小平都市計画道路3・3・8号 府中所沢線

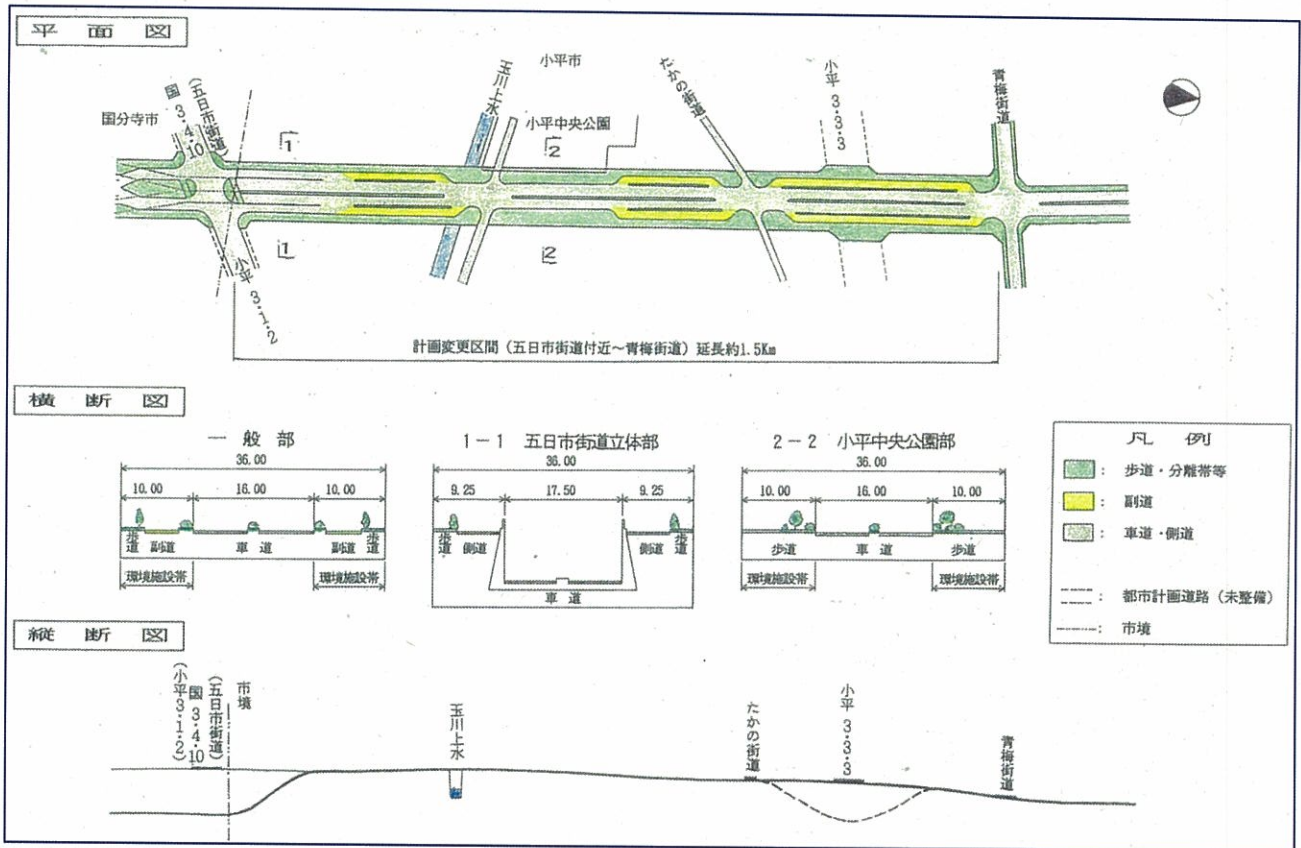
**玉川上水横断部地下[トンネル]構造
に関する検討報告**

平成19年6月25日

目 次

1. 整備方針概念図	1
2. 市回答文書	1
3. 検討の前提条件	2
3. 1 構造等の条件	
3. 2 玉川上水保存管理計画	
4. 検討結果	4
4. 1 選定項目	
4. 2 検討結果のまとめ	

1. 整備方針概念図(平成7年7月東京都提案)



2. 市回答文書(平成9年4月)の抜粋

玉川上水を中心とした周辺の水と緑を、可能な限り良好な形で将来に引き継ぐため、玉川上水の横断は地下〔トンネル〕での整備を検討して下さい。

3. 検討の前提条件

3. 1 構造等の条件

項目	条件
道路規格	第4種第1級
設計速度	V=60km/h
車線幅員	3.25m×4車線
縦断勾配	$i_{max}=5\%$
施工方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 玉川上水横断部は非開削工法で検討 ○ 前後の区間は開削工法
検討条件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 五日市街道、たかの街道とは平面交差 ○ 災害時の対応・利便性及び防犯性の観点から、地上部に幅員5mの人道橋を設置
標準断面	下図(図-1~図-3)のとおり

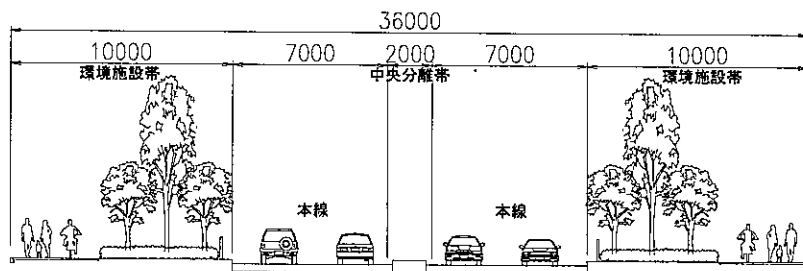


図-1 一般部

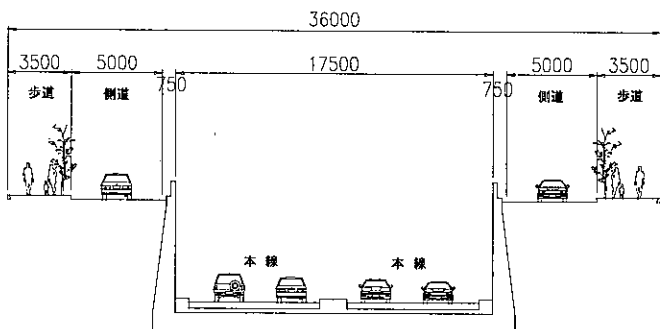


図-2 アプローチ部

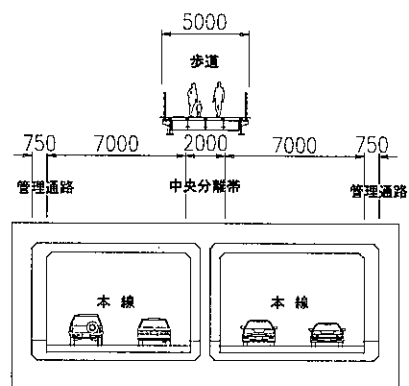


図-3 玉川上水横断部

3. 2 玉川上水保存管理計画（抜粋）

④公益上必要な施設に係る新規整備は、許可を得る必要がある行為と捉え、史跡と名勝の価値と共存を図ることを前提に、関係機関と協議を行い、許可を得る。

公益上必要な施設（道路や橋梁等）に係る新規整備は、史跡と名勝の価値と共存を図ることを前提に、整備の実施について、事業主体は、文化庁、都、区市等の関係機関と協議を行ったうえで、許可を得る。なお、大きな現状変更に関しては、学識経験者等で構成される委員会等を設置し、検討することが望ましい。

ア 道路や橋梁の新設・架け替え（拡幅を含む）

- ・ 公益上必要な道路・橋梁の新設や架け替え（拡幅）等

イ 横断管渠や道路の附属物等の新設・付け替え

- ・ 公益上必要なガス・電気・排水等の横断管渠や標識・信号機等、道路の附属物、史跡保存のための解説板等の新設・付け替え

4. 検討結果

4. 1 選定項目

「整備方針について」に対する小平市の回答において要望された「玉川上水を中心とした周辺の水と緑を、可能な限り良好な形で将来に引き継ぐ」の観点から、地下〔トンネル〕構造に関して、以下の内容を検討する。

(1) 玉川上水への影響

- ①史跡の改変、改良
- ②既存樹木への影響

(2) 玉川上水周辺への影響

- ①玉川上水周辺の樹林（雑木林）への影響
- ②玉川上水周辺の水環境（新堀用水）への影響

4. 2 検討結果のまとめ

- ・ 史跡の改変については、施工上の工夫により、工事の直接的な改変は避けられるものの、人道橋設置に伴う影響が生じる。
- ・ 現在の玉川上水法面の状況を考慮した場合、史跡範囲内の改良（保存整備）が必要である。
- ・ アプローチ部は開削工法での施工となるため、雑木林の伐根・伐採等の影響が生じる。
- ・ 新堀用水には水路の一時切り回しや掘削、ボックス化による影響が生じる。

表-1 影響面積一覧表

	検討項目	検討結果
玉川上水への影響	史跡の改変面積 (m ²)	約 80
	史跡の改良面積 (m ²)	約 600
	既存樹木への影響面積 (m ²)	約 300
玉川上水周辺への影響	既存雑木林への影響面積 (m ²)	約 7,200
	新堀用水への影響	・ 工事施工時の水路の切り回し ・ 人道橋設置時の山留・掘削